

学校給食

低農薬米を利用すべきでは

災害公営住宅のコミュニティ
長林の団地に集会所を

保護者の負担考え慎重に検討

新たな設置は考えていない

国保税軽減策

子どもの均等割免除は

現時点で対応できない

問 近年は全国的に「食の安全」に対する意識が向上している。学校給食に対しても保護者からは安全安心なものを食べさせたいという願いが強いと感じる。宮古市では、学校給食に低農薬の米を利用している。本町の場合はどのようなものか。地産地消を推し進めながら主食の米は低農薬のものを食べさせてほしいと思うがどうか。

佐々木教育長 米を含めた食材の選定は、学校給食センター運営等検討委員会の意見を踏まえながら、安全・安心な給食の提供を第一に考え、保護者の給食費の負担が増えないよう慎重に検討していく。

問 子育て世帯への経済的支援として、宮古市は国保税の子どもの均等割免除に踏み切った。均等割は子どもが多いほど負担が大きく、生まれたばかりの赤ちゃんにもかかる税金であり、子育て世帯を応援しているとは言えない。本町も子どもの均等割の免除に踏み切るべきでは。

町長 18歳以下の人口2040人のうち、対象者が23%ほどで公平性を保てない。
問 国保は協会けんぽと比べ保険料が2倍近い。2人親でも生活が厳しい実態も報告されていることから、子育て世帯の負担軽減を図るべき。

その他の質問

- ◆ 学習環境は学校間に差をつけた対応ゆめるべき
- ◆ 避難所の環境改善さらに推し進めるべき



木村洋子議員
(日本共産党)



集会所が設置されていない長林の災害公営住宅

問 災害公営住宅には、コミュニティの維持や孤立防止のため集会所がぜひとも必要と感じる。町内の災害公営住宅は高齢化率が高い傾向にあり、一人暮らしの高齢者も多いが、長林の災害公営住宅には集会所が設置されていない。住民からも強い要望があるように天候が悪くても利用しやすい集会所を敷地内に設置すべきではないか。

町長 災害公営住宅の長林第2・第3団地内に集会所は設置されていないが、今後、団地内に新たな施設を設置することは考えていない。付近の船越防災センターを有効活用してほしい。孤立対策等は、指定管理者の町営住宅管理センターによる巡回訪問を定期的の実施し、対応していく。